
編集後記

本誌の発行も順調に進行しており、B5判からA4判に変わり、内容的にも充実したものに成長していることは喜ばしい限りであります。さらに構成内容の体裁もそろそろ定着してきた観があります。

今号では「学術記事」として医会主催の Current Topics 2004 の記録（6題）、学術助成研究論文（4題）、支部での特別講演（2題）、多嚢胞化萎縮腎、骨疾患治療ガイドラインなどを、「経済記事」として診療報酬改定の解説、診断群分類（DPC）、病院機能評価など、「安全対策記事」として災害ネットワーク、肝炎、ウイルス感染症など、「実態調査記事」として長期CAPD患者アンケートなどを盛り込みました。

さらに新しい企画として始まった「透析医のひとりごと」もお楽しみ頂きたいと思います。各支部からの「たより」も健在で継続しております。

今後もさらに充実した編集に努める所存です。そのためには会員諸氏からの自由な投稿やご意見も載せていきたいと考えております。

本誌がお手元に届く頃はすでに涼風が吹く時期でしょうか。残暑に悩んでいる時期でしょうか。どなた様もご自愛下さい。

広報委員会副委員長 鈴木正司